

2018年度 学修実態調査（概要）

1. 調査目的

この調査は、学生の学修意識および学修に関する実態を調査、把握し、今後の改善方策の検討のために使用することを目的とする。

2. 調査の対象者

本学に在籍する学部学生1,366人（平成31年1月1日の在籍者、但し休学者は除く）

3. 調査の期間・実施方法

期間：平成31年1月8日（火）～平成31年2月5日（火）

実施方法：各学科など・学年のキャリア系科目の必修科目において、Web アンケートを実施した。

4. 調査内容の概要

① 学修実態・学生生活満足度調査を整理し、「学修実態調査」（記名式）、「学生満足度調査」（無記名式）に分けて、アンケート調査を行った。

② アンケート項目を見直し、細かい変更を加えた。

5. 調査票の回収状況

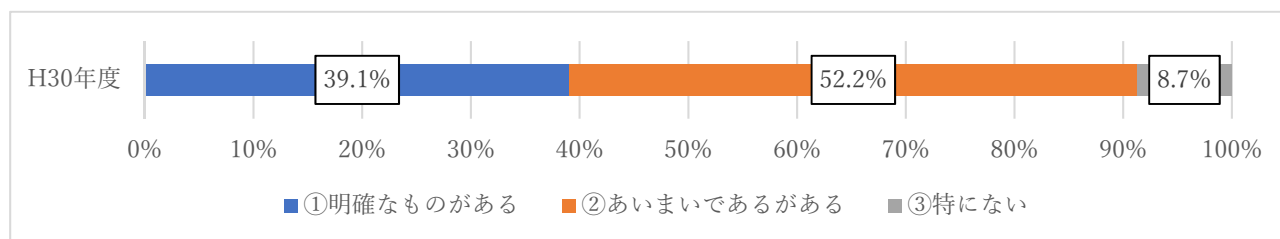
調査票の回収状況は、調査対象者数1,366人の内、回収数990人であった。なお、学科・系別の回答数は次の通りである。機械系255名（82.8%）、電気系296名（76.3%）、土木系131名（76.6%）、建築学科202名（61.4%）、情報デザイン学科106名（62.4%）。※（ ）内の数字は回答率。機械系は、機械工学系、機械設計工学系、機械設計工学（DE）系、設備保全工学系、デジタルエンジニアリング学科である。電気系は電気情報工学系、電気電子工学系、情報工学系、情報システム系、智能制御工学系であり、土木系は土木工学系、土木環境工学系、環境建設系である。

注）抜粋版の記載について：コメント文の〔 〕は、抜粋版では省略したグラフに関するものである。

〔2〕 目的や目標の設定について

1. 大学生活を送る上で何らかの目的・目標を持っていますか？

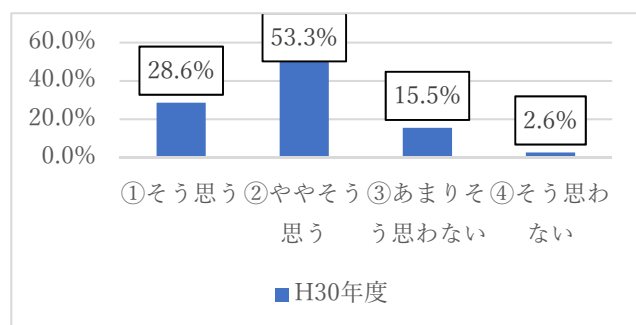
約9割の学生が、なんらかの目的や目標を設定し、大学生活を送っていることがわかる。〔学年別では、4年生に低い傾向が見られた。〕



〔4〕 この1年の振り返りについて

1. この1年間は積極的に勉学に取り組めたと感じますか。

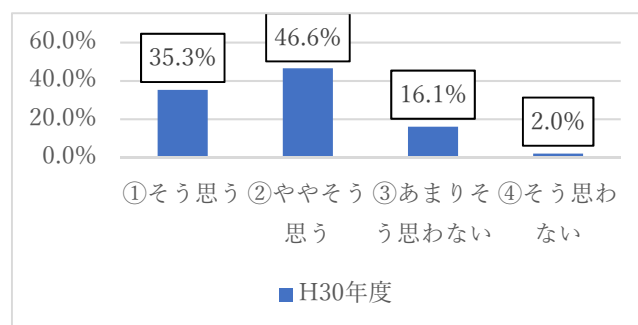
8割強の学生が積極的に勉学に取り組めたと感じている。〔学年別では、2年生に低い傾向が見られた。〕



〔4〕 この1年の振り返りについて

2. この1年間で成長したと実感しましたか。

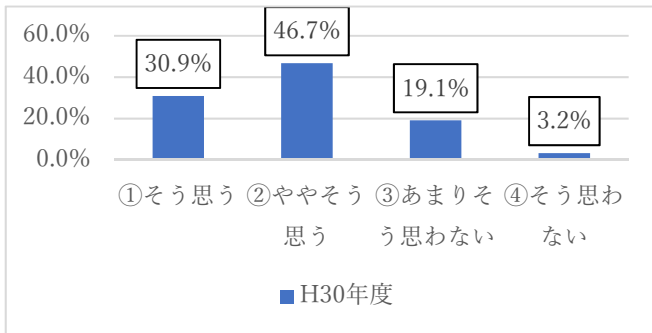
8割強の学生が成長を実感したと感じている。〔学年別では、2年生に低い傾向が見られた。〕



〔4〕この1年の振り返りについて

3. この1年間で中だるみを感じたことがありますか。

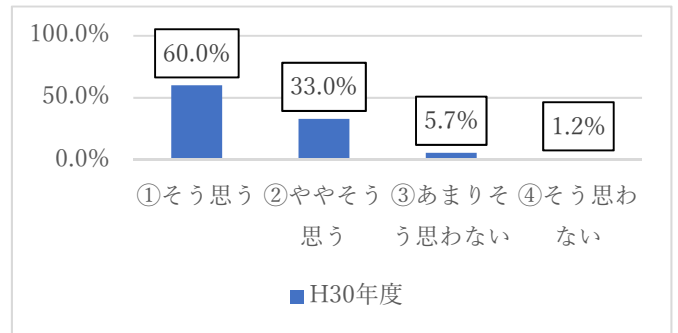
8割弱の学生が中だるみを感じている。〔学年別では、2年生に高い傾向が見られた。〕



〔4〕この1年の振り返りについて

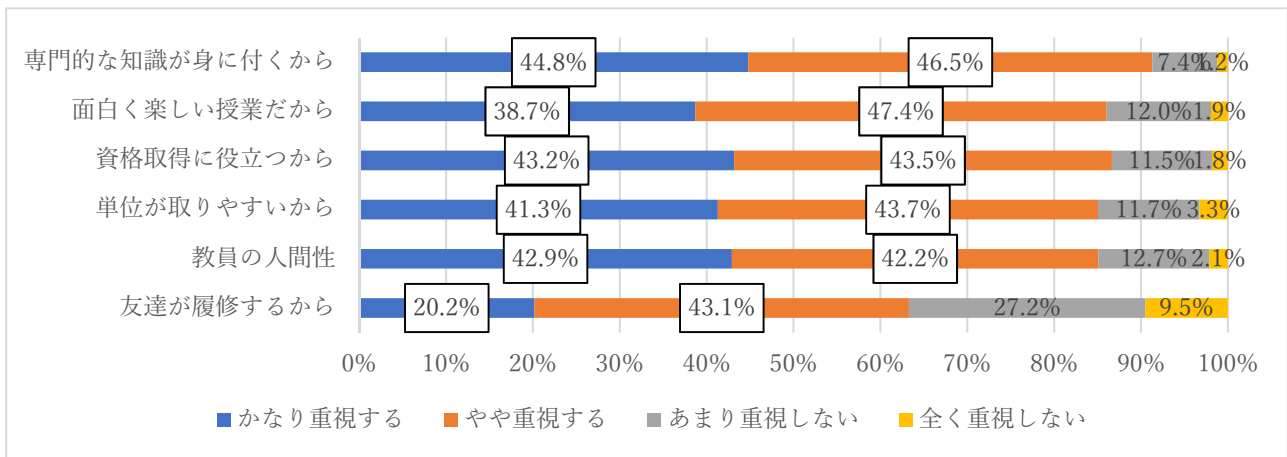
4. 次の学年では勉学に力を入れようと思っていますか。
(1年生～3年生向け)

9割以上の学生が次年度へのやる気をもっていると回答した。



〔5〕科目履修時に重視する要因について

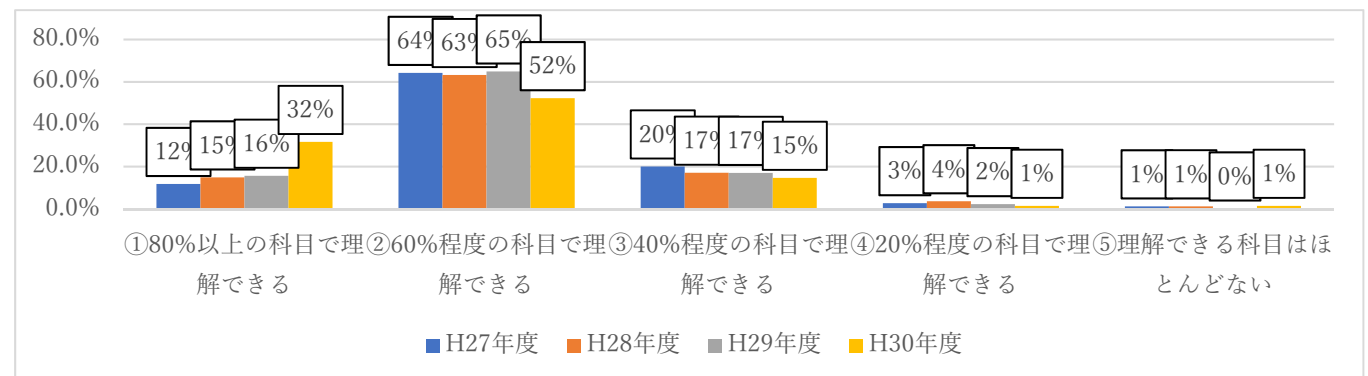
専門的な知識を重視していることが分かる。一方、友達が履修するからの項目は低く、自己の判断により科目選択をしていることがわかる。



〔6〕科目履修時に重視する要因について

1. 授業内容を理解できる科目はどの程度ありますか。

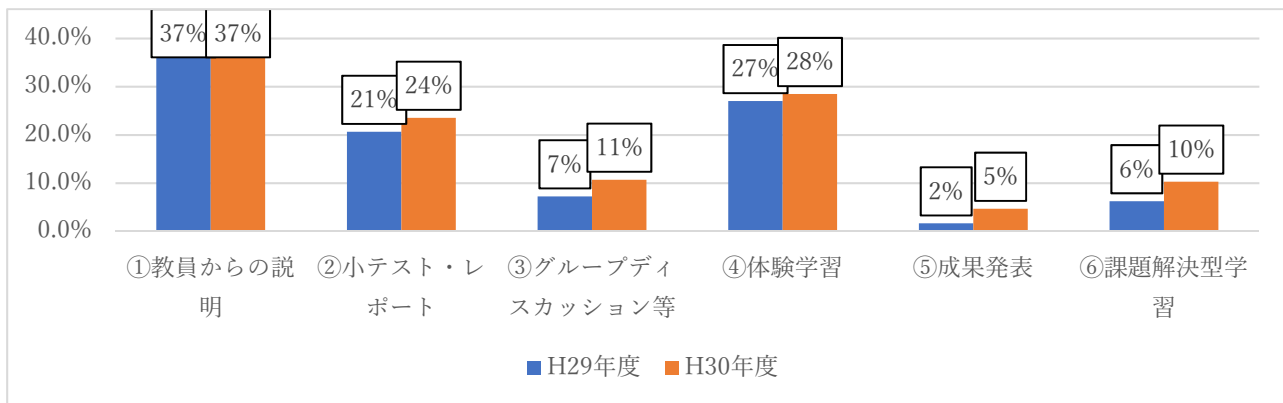
平成30年度は、80%以上の科目で理解できる学生が増加していることが分かる。〔学年別では、2年生が低い傾向にある。〕



〔6〕科目履修時に重視する要因について

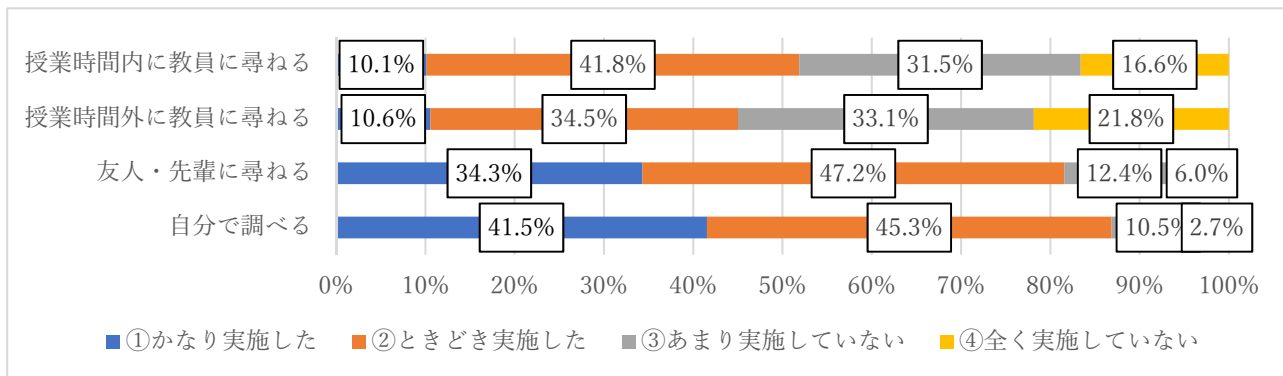
3. 次の授業手法の中で、教育内容が身につくと感じるものはどれですか？（複数回答式）

学生がわかりやすいと感じている授業形態は、教員からの説明や小テスト・レポートなど伝統的な授業形態が多く、一方グループディスカッション・課題解決型学習は低い傾向が見られた。[学科・系別では、情報デザイン学科は課題解決型学習が高い傾向にある。]



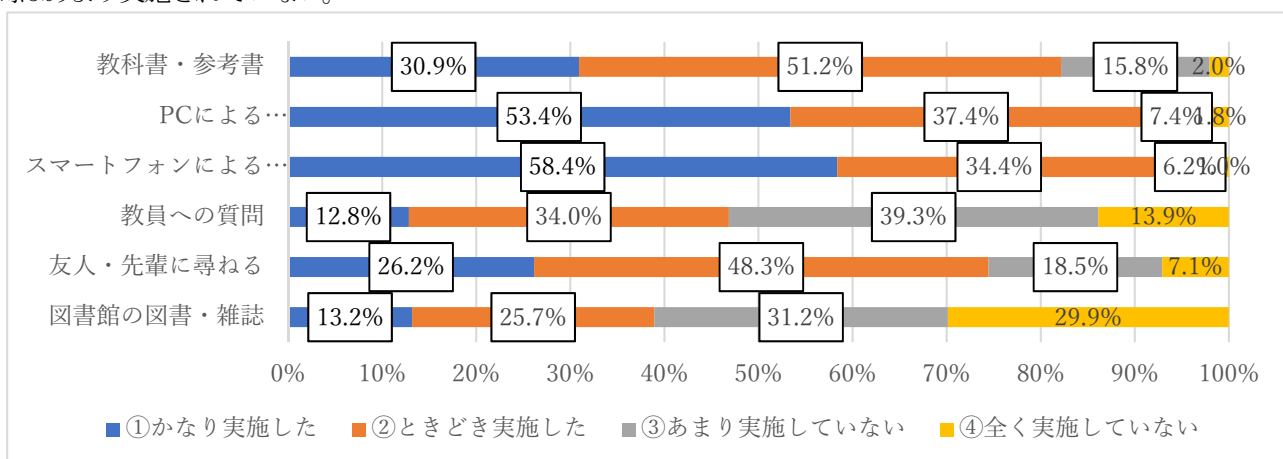
〔8〕授業が理解できないときの対応について

自分で調べる、友人・先輩に尋ねるが8割を超えている。一方、教員へは尋ねにくい状況にあることがうかがえる。



〔9〕レポート作成時などの情報源について

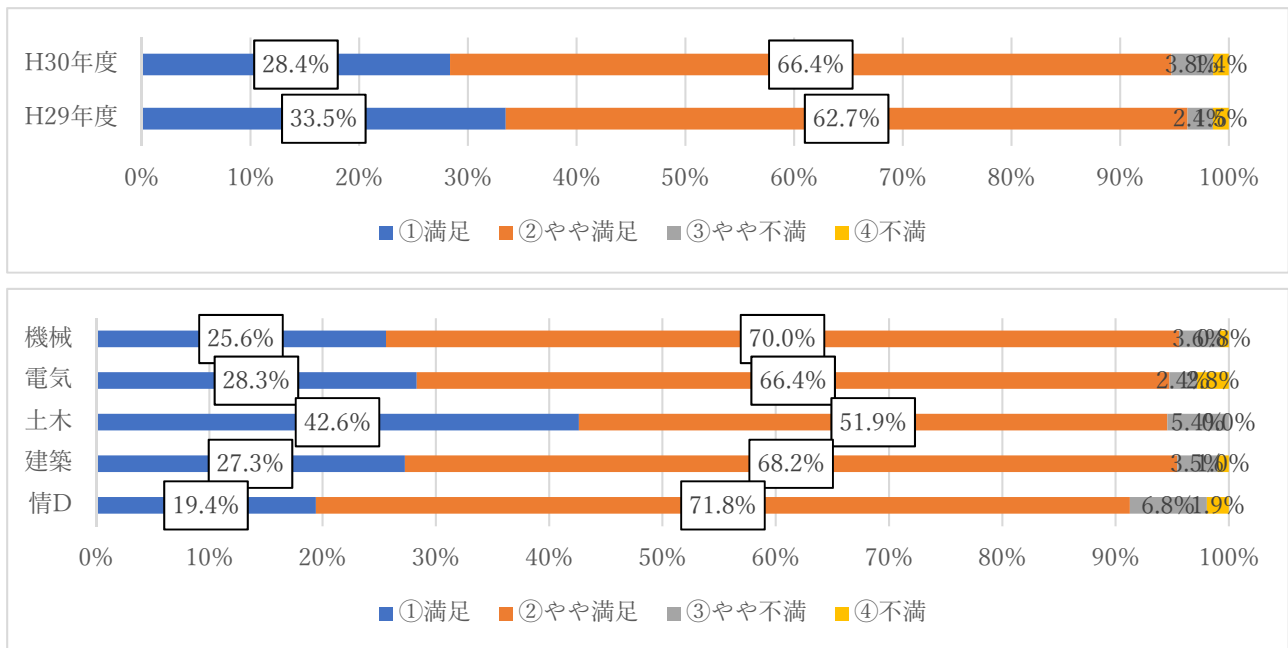
PC,スマートフォンによるインターネットの利用、教科書・参考書の利用が多いことが分かる。図書館の利用や教員への質問はあまり実施されていない。



〔10〕カリキュラムについて

1. カリキュラムの満足について

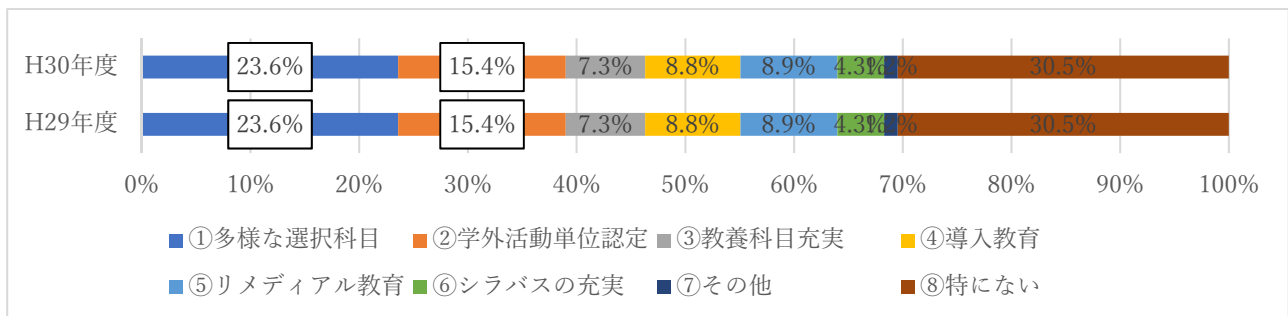
カリキュラムについての満足度は前年度と比較し微減したが、約 95%の学生がカリキュラムに満足していることが分かる。



〔10〕カリキュラムについて

2. カリキュラムに対して要望はありますか。(複数回答式)

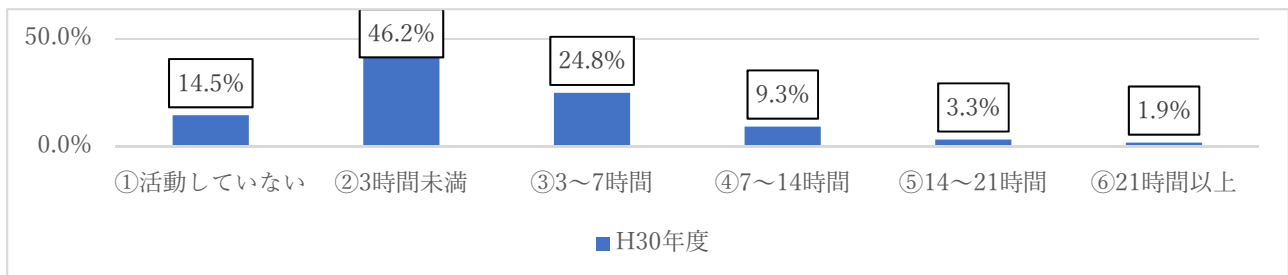
「多様な選択科目」「学外活動の単位認定」に要望が多く見られた。



〔11〕勉強、課外活動に費やした時間について

1. 授業に関する勉強（予習・復習・課題など）の時間について

1週間の学習時間は、3時間未満と答えた学生が半数近くいる。全くしないと答えた学生は、過去3年間と比べ、減少傾向にある。



※H30年度より、学生が時間外学習時間を算出しやすくするため1週間単位の問いに変更した。

(参考：過去3年間推移) ※H29年度までは、1日平均授業時間外で学習(課題を含む)についての問い

